

道の駅「ぐるっとパノラマ美幌峠」の再生事業

# 観光客の需要に応えた”脱・昭和” の道の駅ブランディング

事業主体：美幌商工会議所

実施地域：美幌町

実施年度：令和4年度(2022年度)



## TAISHIの役割

- ①各種サービスの開発（食事、物販、体験）
- ②観光DXシステムの構築、運用
- ③SNSやECサイトの運用

分野	戦略・計画		調査・研究		マーケティング			その他				
テーマ	地域活性化	事業開発	観光振興	市場調査	専門家協力	商品開発	販路開拓	プロモーション	デジタルマーケティング	クリエイティブ	人材育成	研修・セミナー
該当	●	●	●		●			●	●	●		

## 背景・ねらい

道の駅は自治体が建設・所有し国交相に登録された施設であり、運営は民間や第3セクターに委託されているため、赤字になれば税金が投入されることになります。

全国の道の駅のうち約3割が赤字で苦しんでおり、現代の需要に応じたサービスの提供が求められています。

そのため、エリア最大の集客力を誇る道の駅「ぐるっとパノラマ美幌峠」をマーケティング拠点に、卸売業・小売業・サービス業の販路拡大を展開。『地域を食べる「道東いいもの集積地」』をコンセプトとして道東エリアの商品を幅広くカバーすることで「観光客だけでなく地元の方にも愛されて何度でも訪れたい施設」を目指します。

## プロジェクトの概要と獲得成果

### ①施設リニューアル

道の駅に訪れる観光客が求める「新しいサービス」そして「脱・昭和」を図るため施設スペースの分割を行うことによってサービスの多様化を実現しました。刷新したフロアには「美幌峠の揚げいも」など人気メニューが味わえる店舗や、調味料や器にこだわったセレクトショップ、地元の食材を使用した飲食店を新設しました。

### ②地元産品の活用

道の駅のお土産やイトインサービスに、地元産の食材や特産品を積極的に活用することで、地元の農業や産業を支え、地域の魅力を発信するとともに、訪れる人々に新鮮でユニークな体験を提供することができました。

### ③観光DXシステムの構築・運用

AIカメラで読み取った車のナンバープレートやお客さまの顔認証をもとに来客数・居住地・滞在時間の分析、お客様の顔認証で得たPOSデータで売り上げや商品の販売数・客単価などのデータを可視化しました。

## 獲得成果

- ・道の駅に立ち寄る車輛ナンバーの認識、入場者の顔認証の認識、POSデータと顔認証との照合によって有効なマーケティングデータが得られました。
- ・美幌町内で地元食材の加工が困難な場合は加工のみを外注という形で地域経済循環を意識した体制で運用。地元業者とのコラボ商品の開発などで成果を上げることができました。

## プロジェクト実施後の状況

地域で生産したものを地域で加工・販売するエコシステムの構築により拠点として道の駅のモデルとなりました。

売り上げも昨年度より大幅に拡大し、観光産業の活性化による地域経済活性のモデルとしても有望です。

●2022年4月21日リニューアルオープンを果たしました。



●「行ってよかった！道の駅ランキング」全国トップ16に選ばれました。



●AIカメラを使ったマーケティングデータ収集のシステム構築

